



学会ホームページ <http://jasce.jp>

035号(2016年11月29日)

目次

第13回全国大会報告
台湾における協同学習事業の展開
第14回大会について
『協同と教育』への投稿募集
学会ワークショップ
マスターコースを開設
＜アドバンス＞開催報告
今後の予定(判明分)
各地の研究会・勉強会
出版情報

第13回全国大会報告

大会テーマ

アクティブラーニングの核としての協同教育

11月4日から6日の3日間、第13回の全国大会が三重大学(三重県津市)で開催されました。

初日はプレ大会として、午後から三重大学教育学部附属中学校で授業公開が行われ、参観後、教科別の検討会が開催されました。

二日目・三日目は、三重大学工学部



新会長 杉江先生のあいさつ

棟に会場を移し、本大会が開催されました。本大会では、実行委員会企画の記念講演・フォーラム・ラウンドテーブル・ワークショップの他に、会員のみなさまによる研究発表(22件)、実践発表(37件)、ラウンドテーブル(3件)、ワークショップ(5件)が開催され、過去最高の発表・企画件数を数えました。参加者も200名を越え、その中には台湾協同学習(TCL)プロジェクトのメンバーも台湾から参加されるなど国内外からの参加者が集まる会となりました。

三日目の大会記念講演では、東京大学の白水始先生による「協同学習で学びを見る、学びを見直す」というテーマでの講演が行われ、実際に活動も取り入れながらの講演に、会場は熱気に包まれました。また、二日目の夕刻からは情報交換会が行われ、100名を越える参加者の方にご参加いただきました。

本大会ではたくさんの発表・企画が行われ、非常に活発な議論が行われました。閉会式での杉江会長からのお言葉にもあったとおり、新しい時代に入ってきている予感を大いに感じさせる大会でした。

(大会実行委員長 中西良文)

台湾における協同学習事業の展開

第13回全国大会のフォーラムの一つとして、国立台北教育大学学長の張新仁教授をはじめとする一行が来日し、台湾協同学習(TCL)事業について報告しました。張学長から杉江会長、関田前会長に台湾協同学習の資料が贈呈されました。

TCLとは、協同学習の方略を用い

ることで学習指導を活性化させ、中学生の学びを促進することを目的とした、台湾文部省(MOE)後援事業です。過去4年間に628校、12,330人の教師がTCLの3レベルワークショップに参加して研修し、成果が報告されています。(フォーラムの通訳は伏野理事。)



第14回大会について

来年度の第14回大会は岡山大学教育学部で10月28日(土)～29日(日)に開催します。なお、前日27日(金)には岡山県立倉敷青陵高等学校にご協力頂き、「プレ大会」として同校の公開授業研究会に学会員が参加できることになっております。皆様のご参加をお待ちしております。

(第14回大会実行委員長

高旗浩志)

『協同と教育』への投稿募集

『協同と教育』への投稿は随時受け付けております。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常、数ヶ月を要します。学会機関誌『協同と教育』への積極的な投稿をお待ちしております。

JASCE

学会ワークショップ

マスターコースを開設

学会理事会(11月4日)において、学会ワークショップに待望のマスターコースの開講日程が決まりました。2017年3月4日(土)～5日(日)の2日間、中京大学で開催されます。参加申し込みにあたっては以下の受講資格を満たしている必要があります。

- (1) JASCE会員であること。
- (2) 認定ワークショップ「ベーシック」並びに「アドバンス」を修了していること。
- (3) 認定ワークショップ「アドバンス」終了後1年以上に

わたって協同学習に関する研究活動もしくは教育実践活動の実績を有していること。(参加に際し、実践に関する事前課題が出ます。)

- (4) JASCEの理念を理解・尊重し、協同教育の振興に貢献しようとする意思をもっていること。
 - (5) JASCEを含め、様々な学会での研究発表、ラウンドテーブル、研修企画など、研究・実践活動に積極的に参加する構えをもつこと。
- 詳細は今後、学会ホームページ上で告知します。

● <アドバンス>開催報告

11月12日(土)～13日(日)【公認】

会場:南山大学

人間関係研究センター(名古屋市)

講師:関田一彦・石田裕久

毎年11月の恒例になっています南山大学人間関係研究センター主催の協同学習ワークショップ(アドバンス)が開催されました。参加者は28名で、受講された方々からは「今後の授業を展開する上で、“共に学ぶ”ための具体的な方法論が身についた」「『自立(自律)した学習者を育てる』という明確な目標に向かって、さらに前向きに



歩んでいきかけになった」「今回の講座で目標や評価など、新たな視点から日常の授業を点検することができた」などの感想が寄せられました。

(石田裕久)

● 今後の予定(判明分)

<ベーシック>

◇2017年1月5日(木)～6日(金)

【主催】

会場:北海道立道民活動センター
カデル2.7(札幌市)

5F540会議室

講師:水野正朗

◇2017年3月11日(土)～12日(日)

【主催】

会場:創価大学(八王子市)

講師:太田昌宏

<アドバンス>

◇2017年3月11日(土)～12日(日)

【主催】

会場:創価大学(八王子市)

講師:伏野久美子

<マスター>

◇2017年3月4日(土)～5日(日)

【主催】

会場:中京大学(名古屋市)

講師:研修委員会

<一日研修>

◇12月11日(日)【公認】

会場:中京大学(名古屋市)
名古屋キャンパス0号館
6F 604教室

講師:有本高尉・水谷茂

◇2017年2月19日(日)【公認】

会場:石川県こまつ芸術劇場うら
ら(小松市)2F会議室

講師:有本高尉・水谷茂

※定員になり次第、受付を終了します。お申込み方法、ならびにワークショップの詳細は下記 URL をご覧ください。

(<https://jasce.jp/1031workshop.php>)

JASCE

各地の研究会・勉強会

(東北地域)

◇学会では東北や熊本の震災支援に取り組んでいます。東北支援の一環として、関田一彦先生を講師にした勉強会を仙台・東北地域の先生方を対象に開催します。

関心のある方は、12月以降、本会HPでご確認ください。

(東京・関東地域)

協同教育カフェ in 八王子

◇恒例になりつつある、創価大学の協同教育カフェが11月19日(土)の午後1時半から5時近くまで、教育学部棟B303教室で開催されました。今回のカフェマスター(話題提供者)は田中光夫さんと私(関田)の二人。田中さんは、自立した学習者の育成のための実践が、協同学習になっていると自身の実践を振り返りました。その話は、協同学習アドバンスの内容ととても重なり、興味深い話題提供になりました。私は、参加者のニーズに応じる形で、アクティブ・ラーニングの流れを味方にして、協同学習を実践していくポイントを語りました。

参加者は8名と少なめでしたが、その分、一人ひとりの関心に即した学びが進んでいたようです。

連絡先: 関田一彦

(sekita@soka.ac.jp)



(名古屋・東海地域)

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇10月特別例会を10月8日(土)13時30分からプライムセントラルタワー名古屋駅前店で開催しました。

テーマは「審議まとめを受けて、アクティブラーニング型授業を定着・発展させる」で、第1部は水野正朗のワークショップ(模擬授業を含む)、第2部は溝上慎一先生(京都大学)の講演でした。

◇今後の開催予定

12月例会を12月16日、名古屋大学教育学部で開催します。テーマは「イェナプラン教育」の要素を用いたアクティブラーニング型の授業と部活動の実践」。報告者は若杉逸平先生(名古屋市立工芸高等学校教諭)です。

連絡先: 水野正朗

(mizunokita@yahoo.co.jp)

Learning Design Community (静岡県)

◇第9回研究会(ワークショップ)を11月18日、18時30分から三島市市民文化会館会議室で開催しました。テーマは「学びが深まるアクティブラーニングの授業原理:『主体的・対話的で深い学び』の評価って本当にできるの」。講師是水野正朗先生。深い学びとなりました。

連絡先: 鈴木映司(韮山高等学校
suzukifamilyeiji@yahoo.co.jp)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇第13回研究会を9月30日に、第14回研究会を11月25日に開催しました。9月は日本協同教育学会第13回大会の発表に向けて、新屋智子先生と那須さとみ先生がプレ発表され、ブレインストーミングとラウンド・ロビンを用いたアドバイスのディスカッションをしました。教員仲間の成功を支えようとする協同の精神に溢れた研究会でした。11月はト部紘子先生が「粘土と協同学習を用いた成人看護(消化器)」の授業展開、平良美栄子先生が「診察時の援助技術」の講義にジグソー法を取り入れた授業展開について発表され、24名の参加者で活発な意見交換ができました。最後に、杉江修治先生の著書『協同学習がつくるアクティブ・ラーニング』の研究的実践の内容を学びあいました。



◇今後の開催予定

場所: グランフロント大阪
アクティブスタジオ

時間: 19時~21時

日程: 2017年1月27日、3月24日(杉江会長をお迎えます)

参加申し込み先 緒方巧(梅花女子大学 t-ogata@baika.ac.jp)

JASCE



(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇協同学習研究会 EXTRA

(11月研究会)の報告

11月19日(土)、岡山個集研(個を生かし集団を育てる学習研究協議会)との共催による「協同学習研究会 EXTRA」を開催し、お二人から実践報告を頂きました。いずれも12月24日・25日に山口市で開催する「第43回全国個集研山口大会」に向けた事前協議を兼ねており、岡山県内外から30名を超える先生方にご参加頂きました。

大内京子先生(岡山市立平福小学校)の報告:テーマ「道徳を核にした授業づくり:『心と心のあくしゅ』を使って」。大内先生は、「思いやりの心とはどのような心なのか?」という原理的な問いを子どもたちが考え抜く授業を実現し、「新しい自分」に出会える授業展開をご提案くださいました。

齋藤夕子先生(岡山市立御南中学校)の報告:テーマ「特別支援教育の視点を生かした授業づくり:理科の授業での挑戦」。齋藤先生は、学習に対する個の特性を特別支援教育の視点から把握し、環境面・教材作成上の工夫とともに、支援の方策の具体とその成果についてご報告頂きました。

◇今後の開催予定

第3回(12月3日)は定員となりました。今後の開催予定は学会HPの「各地の勉強会」をご覧ください。

(<https://jasce.jp/1082schedule.php>)

連絡先:高旗浩志(岡山大学教師教育開発センター)

E-Mail :takahata@okayama-u.ac.jp

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇9月研究会の報告

9月24日(土)午後1時~午後5時、久留米大学御井キャンパスで開催しました。講師は岩田好司先生(久留米大学)。演題は「協同の技能を教える—ジョンソンらの研修プログラムに即したワークショップ」。講師がこの夏、米国ミネソタ州で開かれていた研修プログラムに参加したことを生かして、そ

の基礎コースをとりあげ、参加者にジョンソンらの研修プログラムを体験していただきました。

◇今後の開催予定

次回の開催は12月10日(土)午後1時~午後5時。会場は久留米大学御井キャンパス、ミーティングルーム3です。長田敬五先生(日本歯科大学)による「LTD Based PBL」、須藤文先生(久留米大学)による「LTDを活用したライティング指導の実際:看護学生を対象としたエッセイ作成」の報告など、LTD学習を軸にした盛りだくさんの内容です。本研究会への参加申込みは安永悟研究室のHPからお願いします(<http://yasunaga.me/wiki.cgi>)。

連絡先:安永悟

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)

出版情報

●協同学習がつくるアクティブ・ラーニング

活動ばかりを志向した付け焼刃のようなアクティブ・ラーニングが横行するようでは困ります。本書は、長い実践研究と実証研究を通して形づくられてきている協同学習を核に置いて、本物の学力を追究するための理論と、それを踏まえた実践モデルを紹介したものです。杉江修治編著。明治図書。

●協同学習を支えるアセスメントと評価

協同的な学びとその成果をどのように評価するべきか、またそれはどの

ような考え方にもとづくものかを、協同学習の大家であるジョンソン兄弟が、具体的かつ包括的な観点から著したアセスメント(査定)と評価の入門書です。学習者が主体的な学びを構築することを支える、査定や評価の考え方と方法を理解するための良書です。ジョンソン&ジョンソン著、石田裕久訳。日本協同教育学会発行、ナカニシヤ出版販売。

